

バルカーカップ2025競技規程

① 使用楽曲

1.1 使用する楽曲については別に示す「バルカーカップ楽曲規程」に定める。

② 作品

2.1 出場者は4分以内のショーダンス（ストーリー性のあるダンス）で競うものとする。

2.2 準決勝と決勝は同作品でも可とするが、その際には準決勝と決勝では一部演出・振付の変更を行わなくてはならない。また作品は既出、新規を問わない。

2.3 エントリー時に、楽曲データおよび作品のストーリーを申告すること。

2.4 作品紹介アナウンス後のフロアーへの入場は、舞台下の所定位置（2か所）から舞台上がり舞台中央の花道を通る1ルートのみとする。また、フロアー入場の際、呼吸を整える程度立ち止まることは可とするが、フロアー入場前に立ち止まってのパフォーマンスは不可とする。なお、退場箇所はフロアー内であれば自由とするが舞台を通過しての退場は不可とする。

2.5 演技する各作品は「バルカーカップ楽曲規程」に則っていなければならない。

2.6 振付師が振り付けることができるペア数は3ペアまでとし、振付師としての賞金は、振り付けしたペアが獲得した最高位の分のみとする。

③ ダンスジャンル

3.1 バルカーカップ2025でのダンスジャンルを以下の4つと定める。

①社交ダンス ②バレエ・コンテンポラリーダンス ③ジャズダンス ④ストリート系ダンス全般
尚、使用する床については別途発表する。

④ 予選

4.1 エントリーが各ダンスジャンルにおいて8組（④については12組）を超えた場合、本大会前に予選を行う。

⑤ 審査方法及び結果決定方法

5.1 審査はジャンル別の専門審査員3名（合計12名）による採点方式で行う。また、決勝においては、特別審査員（5名）と、会場の観客およびライブ配信の視聴者によるオーディエンス審査を行い、その合計点で競う。なお審査員は出場作品の振付に関わってはならない。

5.2 予選および準決勝の審査項目は下記のとおりとする。

1) ストーリー性

2) ストーリーとの整合（演出・音楽・振付の調和）

3) スペシャルティー（ペアが見せるスター性・斬新さ、独創性）

決勝においては上記に加え、特別審査員が下記項目について審査する。

4) ショー、エンターテインメントとしてのクオリティ

会場の観客およびライブ配信視聴者によるオーディエンス審査は、「投票者が最も気に入った、感動した作品」へ投票し、投票数を点数化する。

5.3 決勝においては、1)～4)の点数合計を50%、オーディエンス審査点数を50%で配点する。

5.4 準決勝戦、決勝戦において合計点が同じであった場合、1)から順に小計の得点が高い順に上位とする。例) 総得点が同点→1)の項目の総得点が高い方が上位→それも同点の場合→2)の項目の総得点が高い方が上位→以降優先順位は3)、4)、5)の順となる。

⑥ リハーサル

6.1 準決勝出場者は、大会当日会場にて 1 組当たり 5 分間の時間が割り当てられ、リハーサル（フロア・楽曲・照明の確認）を行うことができる。但し当日の会場設営などの状況により、5 分間未満の設定時間となることがある。

⑦ 演技時間

7.1 フロアーに入場又は曲のスタートのいずれか早い方から退場までを 4 分以内とする。

7.2 曲のスタートは選手が指定する任意の時点とする。

7.3 入場とは二人のいずれかがフロアーに入場した時点の事とする。

7.4 退場とは二人の脚がフロアーから完全に出了た時点の事とする。

⑧ リフト

8.1 相手に全体重を預けた状態で両足が床から 3 秒以上離れた場合をリフトとする。

8.2 作品内では 3 回のリフトを行うことができる。リフトは作品のどの部分にでも入れることができ、1 回のリフトは 15 秒以内とする。

⑨ 照明

9.1 主催者はショーダンス選手権出場選手に対し、事前に使用可能な照明機器を伝えなくてはならない。

9.2 ショーダンス選手権に出場する選手は、指定の期日までに照明台本を提出しなくてはならない。

⑩ 衣装

10.1 衣装は自由とする。

⑪ 小道具

11.1 選手の衣装の一部ではないアイテム、衣装と切り離すことができるアイテムは小道具とみなされる。

11.2 入退場時及び演技中に小道具を使用することはできない。

⑫ 演技順

12.1 演技の順番は、当日出場する全ての選手又は代表者のいる中で抽選を行い決定する。

⑬ ラウンド及びラウンド間のインターバル

13.1 ラウンド数は別に定める大会要項（シラバス）による。

13.2 ショーダンス選手権においては、各ラウンド間に最低 3 0 分のインターバルを取らなければならない。

⑭ 審査委員長

14.1 ショーダンス選手権大会内で競技が規程に則り公正かつ適正に行われるために必要な決定について、最終決定権は審査委員長に与えられる。

⑮ 規程違反

15.1 作品の規程違反を監視するためチェッカーを配置する。

15.2 規程違反があった場合、獲得した点数の 10%を減点とする。

⑯ 規程の改定

16.1 本規程は主催者の判断により、改定される場合がある。